

2011 Vol.2特集「思考が深まる『学び合い』」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*「VIEW21」小学版のバックナンバーは「Benesse教育研究開発センター」ウェブサイト (<http://benesse.jp/berd/>) でご覧いただけます。

◎私も「自力解決と学び合いを取り入れた、楽しく分かる問題解決的な授業」を目指していますが、学び合いはなかなか深まらないのが実情です。今回の特集は、学び合いをつくる手立てについて授業を再現しながら具体的に紹介しており、大変分かりやすかったです。普段の授業に取り入れながら、一人ひとりの考えを練り上げられるような学び合いを、少しずつつくっていきそうだと感じました。 [群馬県／A小学校／S・M]

◎35年ほど前、新任の教師として悪戦苦闘していた私に、先輩教師が「満足できる授業なんて1年間にそんなに多くないよ」とアドバイスしてくれました。その日から授業の中身を少しでも高めようと努力を重ねてきました。文教大の嶋野道弘教授と掛川市立城北小学校の鈴木功一校長の「課題整理と実践のヒント」は、教師も共に育つことが出来る内容であり、若手教師に授業力の向上に励んでほしいと思い、回覧しました。

[大阪府／M小学校／M・H]

◎「課題整理と実践のヒント」で取り上げられていた「かもつれっしゃ」の授業が面白く、「なるほど!」と納得しながら読みました。「詩」は「形式ではなく、情景が思い浮かぶものかどうか」を考えるきっかけとなった、児童の何気ない言葉を取り上げたことが素晴らしいと思いました。 [栃木県／K小学校／T・H]

◎子どもが「学びたい」「解決したい」と思える課題の設定がとても大切だと思いました。教師には、日頃の授

業で子どもの素直な疑問(つぶやき)を取り上げる心のゆとり、感性が求められます。掛川市立城北小学校の「『自まん』づくり」は、学校を挙げて取り組み始めば子どもが変わると思いました。本校でも取り入れてみたいです。 [和歌山県／N小学校／Y・Y]

◎掛川市立城北小学校の「6年生算数の授業に見る学び合いの流れとポイント」では、同じ流れの指導案で行われた二つの授業を並べていましたが、指導案が同じでも、学級、児童の構成、個性、特徴、教師の持ち味などで、全く異なる授業展開になっていた点が興味深かったです。教師の投げ掛けなどを比較しながら見ていくと、変容につながるポイントが見えてくるようで、楽しく読みました。 [栃木県／N小学校／Y・A]

◎大田区立久原くがはら小学校の事例にある「ポイントを絞った指導で、学び合いの時間を捻出」が、勉強になりました。教科書にある資料は全て提示しなければならないという意識がありましたが、「学習指導要領でポイントを確認し、教科書にある資料でも取り上げないこともあります」というコメントに、そうではないことに改めて気付かされ、指導内容のポイントを把握する重要性を学びました。 [山梨県／K小学校／K・K]

◎「学び合い」を活性化させるための五つのポイントを実践している大田区立久原小学校は素晴らしいと思います。極小規模複式学級の本校の研修にも、大変参考になります。 [鹿児島県／S小学校／K・T]

お知らせ

文部科学省が被災地の学校と提供者を結ぶマッチングサイトを開設しています

「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」<http://manabishien.mext.go.jp/>

編集後記

これまでにかがった全ての学校で、子どもと笑顔で接する、子どものために授業づくりに力を尽くす先生方の姿、言葉に胸を打たれ、元気をいただきました。今回かがった釜石市では、学校を再開し、教育活動を行い続ける姿勢に、強い信念、覚悟を教えてくださいました。今日までご指導いただいた先生方へ、心より御礼申し上げます。これからも、各地の先生方のパワーを、思いを、熱を、少しでも多くお届けできるよう、力を尽くします。日本の未来は、教育が、小学校がつくと信じています (青木)

VIEW21 小学版 2011 Vol.3

2011年11月11日発行 / 通巻第30号

発行人 新井健一
 編集人 原 茂
 発行人 (株)ベネッセコーポレーション
 Benesse教育研究開発センター
 印刷製本 (株)ビーヴィオコーポレーション
 編集協力 (有)ペンタコ
 執筆協力 二宮良太、山口慎治
 撮影協力 石田理恵、川上一生、八木直人、
 ヤマグチイッキ
 イラスト協力 浅沼リカ、幸剛

◎お問い合わせ先

VIEW21編集部

電話 03-5320-1287

〒163-0411東京都新宿区西新宿2-1-1
 新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2011